

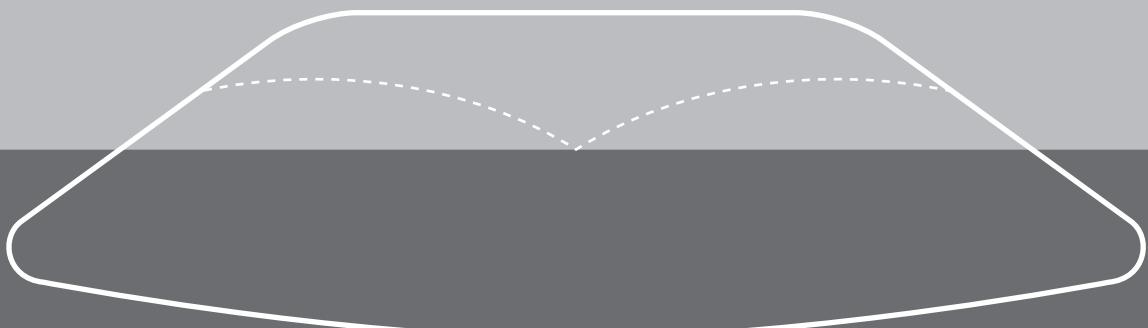
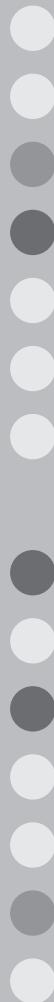
第39回

都々逸全国大会

作詞の部

作品集

第39回都々逸全国大会実行委員会



ごあいさつ

第三十九回都々逸全国大会作詞の部にご応募いただき、誠にありがとうございました。

都々逸は、常陸太田市に生まれた都々一坊扇歌により確立されました。今大会も全国各地から個性豊かで素晴らしい作品が多く寄せられ、都々逸が当市と全国を繋ぐ架け橋となつていることを強く感じます。長年都々逸を愛好されている一般の部の方はもとより、学生の部応募者の皆様にも今回を機に、創作意欲を高め、文化活動の担い手として、今後も都々逸節の発展に寄与していただきたいと思います。

本大会の開催にあたり、ご尽力いただきました関係者の皆様には心より厚く御礼申し上げますとともに、皆様の益々のご健勝を祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

第三十九回都々逸全国大会

大会長 藤田 謙二

目次

24 19 11 3 1

一
般
の
部

◆宿題句「技」「術」「革」「新」

賞区分	氏名・筆名	住 所
どどいつ大賞	星野 和代	茨城県ひたちなか市
どどいつ準大賞	仙太郎	東京都羽村市
	上原 きよみ	兵庫県多可郡多可町
	上原 敏伸	兵庫県多可郡多可町
どどいつ賞	稻葉 建正	茨城県桜川市
	うらら	茨城県つくば市
	玉田 和子	茨城県笠間市
	酒川 千鶴子	茨城県石岡市
	風穴 尚紀	埼玉県さいたま市
	富山 邦男	茨城県那珂市
佳 作	本多 しげる	愛知県岡崎市
	久米 初枝	東京都台東区
	岡野 美恵子	東京都豊島区

◆自由句

賞区分	氏名・筆名	住 所
どどいつ大賞	石塚 芳華	茨城県石岡市
どどいつ準大賞	稻葉 建正	茨城県桜川市
	後藤 園生	神奈川県川崎市
	宮崎 明美	埼玉県春日部市
どどいつ賞	助川 浩史	茨城県石岡市
	山口 龍一	三重県伊勢市
	根岸 おと弥	埼玉県さいたま市
	玉田 佗介	茨城県笠間市
	富山 邦男	茨城県那珂市
	真美	埼玉県朝霞市
佳 作	上原 きよみ	兵庫県多可郡多可町
	小川野 蛙	茨城県石岡市
	龢道	茨城県稻敷郡美浦村

宿題句

お題

「技」

「術」

「革」

「新」

どどいつ大賞

土用綿入れ 一針技は 母が残した ちゃんちゃんこ

評 お母さんが一針一針丁寧に縫つたちゃんちゃんこ、大切な思い出の品だがもう誰も着ない。I-T・A-I万能の現代に時代遅れになつた我が身と重ね合わせた深い感慨の一句。

茨城県ひたちなか市 星野 和代

どどいつ準大賞

生成A-I 夢ある技術 サムライ英知が 試される

評 世界水準に一周遅れと言われる日本のA-I開発・・・これからが正念場ですね。

東京都羽村市 仙太郎

踊る姿は 手足の妙技 涙えて母娘の 夏まつり

評 夏祭で母娘が連れ立つて踊る姿・・・いいですねえ。

兵庫県多可郡多可町 上原 きよみ

押して引いての 駆けひきよりも なみだ一すじ 流す技

評 恋愛・夫婦・ビジネス、いろいろな場面が想定される幅のある作品。締めの「技」が効いています。

兵庫県多可郡多可町 上原 敏伸

石屋の親方 新弟子なくて 石仏みたいな 顔で居る

評 技術を継承する弟子のいない石屋の親方の頑固な不安顔が目に浮かびます。

茨城県桜川市 稲葉 建正

今日の夜勤は 新人ナース わたしの不安に かけつける

評 深夜不安な気持ちで押したコールボタンに駆けつけてくれる新人ナース、嬉しいですね。

茨城県つくば市 うらら

大阪万博 大屋根リング 科学技術の 輪をつなぐ

評 今年の大阪万博、各國の文化と共に様々な新技術を巡つて活発な交流へ明るい未来への期待。

茨城県笠間市 王田 和子

常陸太田都々逸 市民の特技 夢は世界で 謠の会

評 都々逸のメツカ常陸太田、ここから発信するエネルギーがさらに広く届きますよう祈ります。

茨城県石岡市 酒川 千鶴子

黄金色した 稲穂が実る 待つてた新米 早く来い

こがねいろ

評 黄金色の稻穂から生まれるピカピカの新米。米騒動の今年はその有難味が一段と。

埼玉県さいたま市 風穴 尚紀

昭和マンガで　夢みた世界　叶う令和の　技術力

評 昭和の漫画で未来予測的に描かれたA-Iロボットや宇宙旅行が次々に現実味を帯びてきています。

茨城県那珂市　富山　邦男

佳作

誇る日本の　卓越技能　世界各地で　光る技

評 様々な分野で日本の技術・技能はまだまだ健在。これからも頑張って欲しいですね。

愛知県岡崎市　本多　しげる

米の高値に　見兼ねた父の　送る新米　親心

評 米どころのお父さんから届いた新米、今年はいつもより何倍も美味しかったでしょう。

東京都台東区　久米　初枝

術後のリハビリ　頑張る父の　笑顔弾ける　孫の声

評 大きな手術の後のしんどいリハビリ、可愛い孫の応援が何よりの励ましと思わず笑顔が。

東京都豊島区　岡野　美恵子

新しき 事へどつぶり 浸りおる 感謝と工夫で 我は生きおる

顔も知らない ネットの仲間 選挙で新人 躍り出る

茨城県常陸太田市 大須賀 文恵

三重県伊勢市 山口 龍一

いづれ無くなる 座布団畠 三ツ指突く技 忘られる

すべ

言つたことへの 責任とらず 新市長でも 古狸

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

謡で綴つた 遅咲きの恋 あつてもいいよね 老の技

愛知県春日井市 吉福 康郎

十年励めば モノにはなると 八十路新たに 習い事

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

おコメつくりは 田下駄や田ぶね 植へも刈るのも 術あらた

愛知県春日井市 吉福 康郎

岐阜県養老郡養老町 植田 美美子

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

おコメつくりは 田下駄や田ぶね 植へも刈るのも 術あらた

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

おコメつくりは 田下駄や田ぶね 植へも刈るのも 術あらた

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

I T 細胞 この灯火よ 煙き放つ 技も新た

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

I T 細胞 この灯火よ 煙き放つ 技も新た

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

新た技術よ 未来を拓く ここに万博 輪を広め

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

チアーガールの 捩いの技に 新人ガール 今に見て

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

チアーガールの 捩いの技に 新人ガール 今に見て

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

異常気象 天も真似るか 革新するも ほどほどに

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

技術革新 昭和に生きた 仕事仲間の 合言葉

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

技術革新 昭和に生きた 仕事仲間の 合言葉

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

茨城県水戸市 井上 哲雄

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

茨城県水戸市 井上 哲雄

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

茨城県石岡市 助川 浩史

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

旨いご馳走 時短で決める レンジ活用 極み技

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

長さ競つて 板前五人 これぞ芸術 桂剥き

酷暑居座る 築を立てる せめて技あり
鰯雲

茨城県石岡市 福田 泰夫

技の習いは十五の春に腹の弱虫鳴いている

茨城県常陸大宮市 鈴木 茂

年の姫は
技など聞いて
姫の道具は
持たせたい

支三書六之新解六之平衍樂六之二之三之

茨城県常陸太田市

昭和100年 何時しか過ぎて 研究進む 新技術

東京都江戸川区 高橋 由香

つまびく糸の音 惹かれる節に
術なく訪れ 待つ一夜

きみ
いと
ひじゅつ
じゅくりよ
めん
む
かなしば

君を射止める きみ
秘術を熟慮 ひじゅつ
面と向かえ便 じゅくりよ
金縛り かなしば

技術進んで ロボット嬢が あなた好きよと 言う日来る

日の出日の入り 不思議な巡り 次の新年 千支は午

この節目は 大事にしたい スーツ新調 凝った色

くすりはこぎじゅつよそくにかやく
薬を運ぶドローラン技術 外の国では火薬つむ

埼玉県さいたま市 根岸 おと弥

技術革新 人工知能 人をあやべる ロボットが

培玉縣趙名市 中田 喜夕放

千葉県柏市
井上
准子

技術革新 A-I導入 行き着く先は リストラか

千葉県柏市 森田 純

家の改革 骨董無くし キレイさつぱり 光る庭

茨城県常陸太田市平由定

技術革新 と い て 残 さ れ て か ら ぬ 事 か か ら な い

龍岡縣三島市
神戸　孝子

いつもチャックを閉めずに提げるあなたの手すれの革鞄

神奈川県川崎市後藤園生

京都鴨川 石積みアート バテンシンクの 技の妙

愛知県名古屋市 福田 良兵

東京都江戸川区 葉山 伯丈

スマホ片手に 広がる世界 技術の進歩 追いかける

誰が相手の ジャンケンぽんも 5本の指だけ 技はなし

右手左手 巧みな技に つなぐ伝統 心意気

茨城県常陸太田市 宇野 周治

埼玉県春日部市 栗田 智枝子

年はとつても 鍛えた技は いくつになつても 鑄はせぬ

茨城県常陸太田市 宇野 隆子

埼玉県春日部市 風穴 倭文子

ここで生まれた 漆や和紙が 千年継なげる 技を生む

茨城県石岡市 小川野 蛙

埼玉県春日部市 宮崎 明美

軒に杉玉 新酒の便り 技を称えて 出荷待つ

埼玉県加須市 松村 有子

茨城県那珂市 高田 愛

猛暑のりこえ 豊かな実のり 技術革新 ききんなし

埼玉県桜川市 木村 隆一

茨城県常陸大宮市 猿田 多眞姫

技術すすんで リモコンそまさ み田に入らず 早苗植え

茨城県桜川市 木村 隆一

茨城県常陸大宮市 猿田 多眞姫

鄙の田んぼで 新米獲れた 今年都へ 大移動

茨城県稻敷郡美浦村 鰐道

茨城県ひたちなか市 大藪 壽美

神と称えて 特攻と散つた 伯父を偲ぶか 新松子

岐阜県揖斐郡大野町 武揚

茨城県那珂郡東海村 小野寺 紀夫

「母しやんみやげ」と 開いた手には 子なりの技なる ダンゴムシ

埼玉県春日部市 滝口 美登里

茨城県日立市 橋本 よし子

種の見えない 奇術の巧み 答えさがしは 夢の中

埼玉県蓮田市 森 純通

自

由

句

どどいつ大賞

父母のいた郷 瑞穂の里に 父のTシャツ 着た案山子

評 久しぶりの故郷へ迎えてくれたのはお父さんが生前着ていたTシャツを纏った案山子、懐かしさがジーンと沁みます。

どどいつ準大賞

一家団欒 お豆腐鍋へ 箸が笑いを 釣り上げる

評 家族で鍋を囲んだ夕食へ箸を運びながらも楽しい会話と笑いが弾む幸せな雰囲気が伝わってきます。

茨城県石岡市 稲葉 建正

単語で答える 夫は置いて チヤツトGP Tに訊く

評 何を訊いてもぶっきらぼうで要領を得ない亭主と比べ、どんどん進歩するA-Iの方がずっと頼りに。

神奈川県川崎市 後藤 園生

川の向こうで 愛しい人が ついて来るなど 笑つてる

評 葬儀の直後でしょうか、深い愛情でつながったご夫婦の思いがしみじみと感じられます。

埼玉県春日部市 宮崎 明美

ひばり裕ちゃん バブルの景気 そんな昭和が 遠くなる

評 本当に・・・後に大きな傷を残したバブル景気すら懐かしく思えるほど昭和は遠くなりましたね。

茨城県石岡市 助川 浩史

猫も夫も 朝から留守で 座蒲団ふつくら 秋日和

評 亭主も猫も出かけた秋日和の静かな縁側、ふかふかの座布団で一人のんびりお茶をく至福の時ですね。

三重県伊勢市 山口 龍一

じしんのふあんと おおみずねっぱ せいじふしんに こここまい

評 地震・豪雨・猛暑と荒れる自然への不安や口先政治への不信、古古古米放出くらいでは収まりません。

埼玉県さいたま市 根岸 おと弥

古古古古古古古 古米令和の 米騒動

評 ずいぶん古を並べましたね～そんな古い米はありませんが、今年の大騒ぎをよく表しています。

茨城県笠間市 王田 伸介

見舞する人 されてる人も つくり笑顔の 思いやり

評 「思つたより元気そう!」「ええ、大丈夫」いつの世も繰り返されるお互いの気遣い。

茨城県那珂市 富山 邦男

外じや吐けない 弱音を今宵 A-I 相手に こぼしてゐる

評 A-I に愚痴を聞いてもらうとそんなシーンがだんだん増えていきそうですね。

埼玉県朝霞市 真美

佳作

朝のひと時 二人の会話 どこに貼るのよ この湿布

評 喧嘩しながらも仲の良い熟年(?)夫婦の朝の微笑ましい会話。

兵庫県多可郡多可町 上原 きよみ

戦後昭和を 夢中で生きた 姑の青春 聴いた夏

評 必死に生きた戦後昭和期に青春時代を過ごした義母さんからそんな話を聞ける嫁姑関係もいいですね。

茨城県石岡市 小川野 蛙

辺鄙窮まる 我が里なれど 倣謡の文化の 発信地

評 そう、俚謡・都々逸の良さをもつと広く知つてもらうために、発信し続けることが大切です。

茨城県稻敷郡美浦村 穎道

笑いあり 友との会話 食事をしたり 年は老いても 心は若い

茨城県常陸太田市 大須賀 文恵

昭和百年 戦死の遺影 咽ぶ空耳 終戦日

茨城県常陸太田市 福地 康夫

日本平は 家から五糠 ここを下れば 駿河湾

埼玉県比企郡滑川町 健二

世界共通 平和の願い 夢を未来の 子ども達

静岡県静岡市 小川 健治

「きっと来てね」と 心に叫ぶ 知らぬ顔した 秋の月

愛知県岡崎市 本多しげる

笑顔足もと 会話もはずむ 親し睦まじ 影法師

岐阜県養老郡養老町 植田 美美子

100年坂よ 戦禍もぐり 喜怒も哀楽 万華鏡

茨城県水戸市 栗原 松枝

盤上熱戦 あの歩がと金 肖りたいは 変わり身よ

茨城県水戸市 大部 弘美

閉店します お詫びの札に 米寿夫婦の 心根が

東京都中央区 村上 妙

おもてなしなら 日本にまかせ 思い出いつけ 帰国の途

茨城県水戸市 井上 哲雄

恋に焦がれて 一夜の逢瀬 朝の別れは 尚辛い

ひとよ

岐阜県安八郡神戸町 早津 郁男

男手消えたが 苦労も何の 母へ希望の 子が育つ

茨城県常陸太田市 吉福 康郎

鳥も語らう 水辺の集い 流れ清らな 源氏川

茨城県常陸太田市 福地 康夫

粹なことなど 言えないわたし 野暮でいいから 君が好き

東京都練馬区 今内 優子

旅を楽しむ ストーブ列車 鉄路湿原 鶴の舞

茨城県日立市 佐藤 雅雄

議員めざして 遊説すれど 御為ごかしの 腹の内

山口県下関市 亀田 正史

昔の家計簿 繰る指止まる 日記以上の 雄弁さ

静岡県浜松市 澤渡 延代

曾孫抱いてる 婆さま見れば 身分財産 越えた幸

茨城県石岡市 若色 茂

眠り覚めれば 羽まで焦げる 蟬が戸惑う 暑い夏

茨城県石岡市 坂下 蜻蛉

入れ歯老眼 難聴だけど 口は八丁 手も然り

茨城県石岡市 福田 泰夫

母は小柄で 素朴な戦士 子供心を 熱くする

茨城県常陸大宮市 鈴木 茂

赤い沢蟹 ほろ酔い気分 前に行かずに 横歩き

茨城県常陸大宮市 鈴木 良子

人とロボットの 未来のカタチ 心通じる 友となる

茨城県常陸太田市 鈴木 盛雄

千葉県柏市 井上 雄子

祭り雛子の 鳴る日は楽し 新調服着る 嬉しい日

東京都江戸川区 高橋 由香

千葉県柏市 森田 純

美魔女すらりの 同窓会に出れば 己が見る目の 無さに泣く

茨城県稲敷郡美浦村 霞天

茨城県常陸太田市 平 由定

会いたさ見たさに 暖簾をくぐり 都々逸唄えば 朝月夜

茨城県水戸市 芝間 靖秋

静岡県三島市 神戸 孝子

騎馬戦挑んだ 学園広場 佇てばかすかに 関の声

東京都羽村市 仙太郎

茨城県つくば市 うらら

ふくらむ想いを 声には出せず 吐息続けて 二つ三つ

兵庫県多可郡多可町 上原 敏伸

東京都台東区 久米 初枝

季節狂いも 秋虫生きて 夜長涼声 夢心地

愛知県名古屋市 福田 良兵

茨城県那珂市 小笠原 順一

上がらないよう 人の字呑んで 歌うカラオケ 大真面目

東京都江戸川区 葉山 伯丈

茨城県笠間市 王田 和子

命の一匁 トマトが誉める だから楽しい 畑仕事

東京都杉並区 佐藤 富貴子

茨城県笠間市 王田 和子

春に蝶呼ぶ 菜の花よりも 蜂に一途な 寒椿

埼玉県さいたま市 根岸 一弥

茨城県常陸太田市 宇野 隆子

地震津波に 猛暑に日照り 天の怒は 極まれり

埼玉県越谷市 中田 喜久雄

推しの勝負に 亂れた髪に どすこいどすこい 恍れなおす

昔望んだ 自由と時間 今じやどちらも 持て余し

千葉県柏市 井上 雄子

海で生まれて 絵を描き髪切り 山へ引っ越し 今ヤマ場

茨城県常陸太田市 平 由定

よせばよかつた バンジージャンプ 常陸太田の 肝だめし

静岡県三島市 神戸 孝子

今日は割り勘 いつてはみても 君の笑顔に 負ける僕

茨城県つくば市 うらら

汗に塗れた 日本の空に 秋が恋しい 彼岸花

東京都台東区 久米 初枝

夏の余韻を あなたに想い 風の香りも 悩ましい

茨城県那珂市 小笠原 順一

古米古古古古 古古古古古米 小泉農相 コケコッコ

茨城県笠間市 王田 和子

稻穂揺られて 夜空に光る 実り願つて 姉妹都市

茨城県笠間市 王田 和子

夜空色どる 大輪の花 赤や緑が 咲き競う

茨城県常陸太田市 宇野 隆子

迷ううれしさ 鏡の中に 背負うピンクの ランドセル

茨城県ひたちなか市 星野 和代

右手左手 頭もひねり 楽器演奏 習い初む

埼玉県加須市 松村 有子

いつも謙遜 して いる人が ペット自慢に 孫自慢

茨城県那珂市 高田 愛

年はとつても まだまだ行ける 大型重機 のりこなす

茨城県桜川市 木村 隆一

渋いお方も 一皮剥けば 甘さしつとり 吊し柿

茨城県常陸大宮市 猿田 多眞姫

年はとつても まだまだ行ける 八十四才 年男

茨城県桜川市 木村 隆一

味噌汁うまいが みんなの記憶 母の笑顔と 割烹着

東京都豊島区 岡野 美恵子

常陸太田市 弥栄祝う 三十九回 ありがとう

茨城県石岡市 酒川 千鶴子

扇歌都々逸 唄つて踊る 未来永劫 みなで行く

茨城県ひたちなか市 大藪 寿美

防空壕から 這い出た虫が 八十年を 移り住む

岐阜県揖斐郡大野町 武揚

熱波続くよ 今年の日本 田んぼのカエル ほてり顔

茨城県那珂郡東海村 小野寺 紀夫

止めてくれるな 卒寿の酒を 我慢辛抱 わしや好かぬ

埼玉県春日部市 滝口 美登里

友の素朴な すがおの下に そつと芽ばえた 愛の花

茨城県日立市 橋本 よし子

「あなたバカね」の 心が読めず 本気で怒った 馬鹿なオレ

埼玉県蓮田市 森 純通

私の人生 苦労もあつた 都々逸唄つて 幸せね

茨城県日立市 萩谷 きみ江

お骨になつても 変わらぬ愛で 朝まで一緒に 床の中

埼玉県春日部市 栗田 智枝子

友の素朴な すがおの下に そつと芽ばえた 愛の花

茨城県日立市 橋本 よし子

術後の経過も 上々なれば さし込む朝日に 瞳がうるむ

埼玉県春日部市 風穴 倭文子

友の素朴な すがおの下に そつと芽ばえた 愛の花

茨城県日立市 橋本 よし子

丸い輪の中 線香花火 笑いのかけらが パチパチと

埼玉県さいたま市 風穴 尚紀

友の素朴な すがおの下に そつと芽ばえた 愛の花

茨城県日立市 橋本 よし子

学
生
の
部

◆宿題句「技」「術」「革」「新」

賞区分	氏名	学校名	学年
どどいつ賞	田代美織	常陸太田市立瑞竜中学校	2年
	安島直人	常陸太田市立瑞竜中学校	3年
	岩間莉乃	常陸太田市立金砂郷中学校	3年
	植田侑希乃	常陸太田市立金砂郷中学校	3年
	齊藤栞菜	常陸太田市立金砂郷中学校	3年
	榎優奈	常陸太田市立金砂郷中学校	3年
	新島奏音	常陸太田市立里美中学校	3年
	齊藤漣	牛久市立牛久第一中学校	2年
	岩田美綺	茨城県立石岡第二高校	3年
	川嶋唯愛	茨城県立石岡第二高校	3年

◆自由句

賞区分	氏名	学校名	学年
どどいつ賞	東海林絢沙斗	常陸太田市立峰山中学校	2年
	清水佑多郎	常陸太田市立金砂郷中学校	3年
	鈴木玲奈	常陸太田市立金砂郷中学校	3年
	立原佳音	常陸太田市立金砂郷中学校	3年
	関根彩乃	常陸太田市立水府中学校	3年
	岩田美綺	茨城県立石岡第二高校	3年
	柴美咲	茨城県立石岡第二高校	3年
	中田美冬	茨城県立石岡第二高校	3年
	野澤晃聖	茨城県立石岡第二高校	3年
	吉岡華穂	茨城県立石岡第二高校	3年

宿題句 「技」「術」「革」「新」

新しい日々 わくわくしてて 私を待つのは 革の靴

常陸太田市立瑞竜中学校二年 田代 美織

予選敗退 くやしいけれど 次へとつなぐ 新チーム

常陸太田市立瑞竜中学校三年 安島 直人

オリンピックで ねらうはメダル 技をみがいて 新きろく

常陸太田市立瑞竜中学校三年 岩間 莉乃

A.I 技術 発展しても 人の心は 変わらない

常陸太田市立瑞竜中学校三年 新島 奏音

昨日の壁を 乗り越えたくて 技を盗んで 強くなる

移る時代に 合わせて変わる 新たな伝統 つないでく

常陸太田市立瑞竜中学校三年 榊 優奈

技術革新 便利な未来 みんなが望む 平和の輪

筆を片手に 世界を描く これが私の 芸術だ

牛久市立牛久第一中学校二年 岩田 齊藤 淑

オリンピックで ねらうはメダル 技をみがいて 新きろく

常陸太田市立瑞竜中学校三年 植田 倭希乃

新たな発見 私はできる やればできるよ 何事も

茨城県立石岡第二高校三年 岩田 美綺

調理検定 時間と勝負 技術磨いて また挑む

常陸太田市立瑞竜中学校三年 齊藤 楓菜

茨城県立石岡第二高校三年 川嶋 唯愛

自由句

風に吹かれて 草木がゆれる 止まることなき 風の歌

常陸太田市立峰山中学校二年 東海林 紗沙斗

髪にリボンを 飾つて君に 言つて欲しいよ かわいいね

細くみじかい 人差し指で 夜空に描いた オリオン座

常陸太田市立金砂郷中学校三年 清水 佑多郎

ずっと気になる スマホの画面 彼の返信 待つている

昔見ていた あの日のテレビ 今は見れない コマーシャル

常陸太田市立金砂郷中学校三年 鈴木 玲奈

君の姿を 見つけて思う やっぱ好きだな 君のこと

夏の夜空に 色とりどりの キレイな花が 咲きほころる

常陸太田市立金砂郷中学校三年 立原 佳音

米の高騰 動かぬ政府 僕の一票 生きるのか

茨城県立石岡第二高校三年 中田 美冬

梅雨のあじさい 田んぼの緑 セミの鳴き声 夏がきた

今の気持ちに リボンをかけて 君に贈ろう サプライズ

常陸太田市立水府中学校三年 関根 彩乃

茨城県立石岡第二高校三年 野澤 昊聖

茨城県立石岡第二高校三年 吉岡 華穂

第三十九回都々逸全国大会 作詞 学生の部

▲ みなさんへ ▼

今回も、都々一坊扇歌師を生んだ地の若い皆さんのが作られた都々逸作品に接し、とても嬉しく選をさせてもらいました。寄せられた皆さんとの作品は、どれも日頃の生活のなかで感じた気持ちを素直に表現する詩うたに溢れ、読みながらとても明るい気持ちになりました。

これから成長が楽しみな皆さんに一つだけ期待を込めたお願いがあります。皆さん的作品のなかに、内容は素敵なのですがこれに節をつけて唄おうとするとちょっと唄いにくい作品がいくつか見受けられました。民謡から生まれた都々逸には、唄いやすくするために、「七七七五」の三つの七にはそれぞれ順に「三十四（または四十四Ⅱ八でもよい）」「四十三（または二十五）」「三十四（または四十四Ⅱ八）」というもう少し細かいリズム上の原則があります。実は、初めて選を担当した昨年も同じ問題があつたので、今年はこの原則を応募用紙の上部に図解で示したのですが十分伝わらなかつたようで、来年はさらに改良したいと思います（今年の選でも、リズム上の問題が軽微で内容的に良い作品をいくつか入選句に含めました）。

「素直な詩心」を大切にしつつこうした技術的な面でもレベルアップした作品が来年以降も多数寄せられるふとを今から楽しみにしています。

総評

小野桂之介

第三十九回都々逸全国大会のご開催、おめでとうございます。

江戸期に都々一坊扇歌師が生んだ都々逸は、今も日本文化の大切な一部を成しております。扇歌師生誕の地である常陸太田市が、関係各位のご尽力により長年にわたり盛大な都々逸全国大会を催されておられることに、都々逸をこよなく愛する一人として心から敬意を表し感謝申し上げます。

この第三十九回大会では、「一般の部」と「学生の部」共に、昨年を上回る多くの作品が寄せられ、選者としても嬉しく楽しく選をさせていただきました。

一つ残念なことは、素敵な内容を詠みながらリズム（節ごとの音数）が整っていないために選から外さなければならなかつた応募作品がいくつか散見されたことです。学生の部の講評でも触れましたが、来年はこの点をより明確に注意喚起するよう工夫したいと考えております。

この伝統ある都々逸全国大会が今後さらに多くの皆さんのご参加を得てますます発展して行きますよう、心からお祈り申し上げます。

小野先生プロフィール

一九四〇年 東京都文京区生まれ
一九六三年 慶應義塾大学工学部理工学科卒業
一九六五年 同大学院工学研究科修士課程修了
一九六八年 同大学院工学研究科博士課程単位取得
一九七〇年 ハーバード大学ビジネス・スクール I T P 修了
一九八三年 工学博士（慶應義塾大学）

一九六五年 慶應義塾大学ビジネス・スクール助手

一九八四年 同大学院経営管理研究科兼ビジネス・スクール教授

一九九七年～二〇〇一年 同研究科委員長兼ビジネス・スクール校長

二〇〇五年～ 慶應義塾大学名誉教授

二〇〇五年～二〇一〇年 中部大学経営情報学部長兼大学院経営情報学研究科長

二〇〇七年～二〇一〇年 中部大学学監

二〇一〇年～二〇一四年 中部大学副学長

二〇一一年～二〇一五年 学校法人中部大学理事

二〇一五年四月～ 中部大学名誉教授

この間 一九七三年 アジア経営大学院訪問教授

現在

慶應義塾大学名誉教授
中部大学名誉教授
YKK（株）社外取締役

◇

著書

経営学関連著書多数のほか、現代都々逸を紹介する『都々逸つていいなあ』（角川書店二〇二一年）および句集『蝸牛』（角川書店二〇一七年）がある。

第三十九回都々逸全国大会作品集

編集 第三十九回都々逸全国大会事務局

発行者 第三十九回都々逸全国大会実行委員会

大会長 藤田 謙二

印刷所 山口写真製版印刷

問い合わせ

第三十九回都々逸全国大会事務局

(常陸太田市教育委員会文化課内)

三一三一〇〇五五

茨城県常陸太田市西二町二二〇〇番地

電話 ○二九四一七二一三二〇一

本書の全部又は一部を無断で複写(コピー)
することは、著作権上の例外を除き禁じられて
います。



都々逸
氣がかり
風呂吹き
磯部黒ねぎ

主催 第39回都々逸全国大会実行委員会

協賛  常陽銀行

 常陸農業協同組合

明治安田生命保険相互会社

常陸太田産業振興(株)

(一財)里美ふるさと振興公社

